



TSUYUKUSA

2015年 新年度のご挨拶



北海道社会事業協会小樽病院 院長 柿木 滋夫

新緑のみぎり、皆様にはいよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。小樽においては降雪が多かったにもかかわらず、雪解けは例年より早く進み桜の開花も例年より11日早くゴールデンウィーク前となりました。当院においても4月に新入職員を大勢迎えその熱気が伝わったものと思われます。一方、東日本大震災から4年が過ぎましたが、まだまだ復興も道半ばというところではあります。しかし、2020年の東京オリンピックに向けて日本全体及び当院が活性化していくことを

希望を込めて期待しています。

平成26年11月に患者支援センターを新たに開設しました。看護師、MSW、事務職員を配置し、地域の医療機関と連携し、患者さんのスムーズな受け入れと、退院に向けた支援を行っています。また、当院に通院・入院されている患者さんおよびその家族の方の治療や入退院に伴い起こってくる社会生活上の問題や心理的問題に関する相談をお受けしており、安心して通える病院づくりを目指しています。

また、11月には呼吸器センターを立ち上げました。近年肺癌の死亡者数は全癌死亡者数のトップを維持し続け、難治性呼吸器疾患に対する治療の必要性は著しく増大して来ています。これらに対する治療法も日進月歩ではありますが、当院では呼吸器科と呼吸器外科が連携し、最新の科学的根拠に基いた集中的かつ集学的に治療に当たるようにしました。当センターにより呼吸器疾患の診療科として専門性を高めるだけでなくスタッフ間の連携を円滑にし、これまで以上に小樽後志の住民のために貢献できればと思いますのでよろしくお願い致します。

平成27年4月から念願だったMRI(1.5T)装置が稼働しました。更新の間は皆様にご迷惑をおかけしたと思いますが、新しいMRIは画像が以前に比べて格段ときれいとなり循環器疾患にも対応できるものとなっております。CTでは造影剤が使えない、冠動脈の石灰化が強く読影できないなどの症例がありましたらご一報ください。MRI対応のペースメーカー装着患者さんについてもMRI撮像が可能な場合もありますのでご相談ください。

「つゆくさ」では、今後当院における診療内容、皆様にお役にたてる情報を発信していきますのでこれからも皆様にご育てられつつ一歩一歩進んでいきますのでよろしくお願い致します。



2015年度医師、臨床研修医の紹介

1. お名前は
2. どちらの部署に所属されていますか
3. 出身地はどこですか
4. 出身校は
5. 最後に一言（抱負など）をお願いします

菊地 健

外科

札幌市

秋田大学

どうぞお見知りおきを



星野 陽子

小児科

札幌市

札幌医科大学

地域の子供たちの笑顔のために頑張ります。よろしくお願いします。



寺山 敬介

呼吸器科

札幌市

群馬大学

久しぶりに小樽に戻ってきました。また楽しく一生懸命に小樽市民のお役にたてるよう頑張ります。



臨床研修医

新海 晃弘

臨床研修医

京都

北海道大学

皆様のお役にたてるように日々鍛錬します。下手ですが料理が趣味です。



勝山 亮一

循環器科

釧路市

福井大学

精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



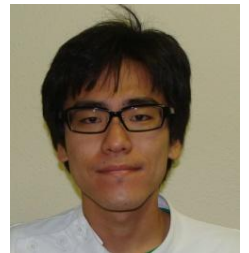
杉浦 文康

臨床研修医

旭川市

北海道大学

焦らず頑張りたいです。



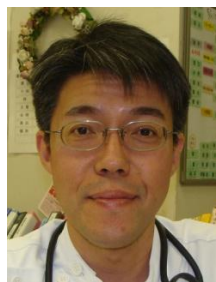
堀田 智仙

小児科

網走市

札幌医科大学

早く仕事に慣れて皆さんのお役にたてるよう頑張ります。



寺井 小百合

臨床研修医

帯広市

北海道大学

少しでも患者様のお役にたてるよう頑張ります。



急性心筋梗塞地域連携クリティカルパスの参加開始

当院では、平成27年4月1日より急性心筋梗塞地域連携クリティカルパス「急性心筋梗塞あんしん連携ノート」の運用を開始しております。患者様・家族にとっては、在宅を安心して暮らせる指針として、また医療機関においては急性心筋梗塞の再発を減少させる疾病管理ツールとして活用していきたいと考えております。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

*近々、札幌市大腿骨近位部骨折地域連携パスにも、参加予定で準備しております。



第23回『地域連携シンポジウム』を開催しました

2015年3月3日(火) 当院二階講堂にて開催いたしました。今回より内容を一部リニューアルし、慢性期病院および老健の施設長の先生にもお声がけさせていただいたところたくさんの先生方にお集まりいただきまして誠にありがとうございました。顔の見える連携を行うために、より多くの地域の先生と、このシンポジウムを通じて交流を深めていきたいと思っております。次回もプログラムができ次第ご案内させていただきますので、どうぞ参加くださりますようお願いいたします。



地域連携室長 長井 和彦

第23回『地域連携シンポジウム』プログラム

【情報提供】

「経口FXa阻害剤 リクシアナ錠について」第一三共株式会社

【I部】

講演1 「PCIにおける抗血小板薬の変遷」

小樽協会病院 循環器科部長・地域連携室長 長井 和彦

講演2 「当院で立ち上げたPFM(Patient Flow Management)の意義と患者支援センターの紹介」

小樽協会病院 地域医療福祉連携 副室長 榊原 知恵

【II部】

内科系診療科(循環器科、呼吸器科、消化器科)による各診療科の紹介と症例提示

- 1) 循環器科 循環器科主任部長 高木 千佳
- 2) 消化器科 消化器科主任医長 加藤 隆佑
- 3) 呼吸器科 副院長 竹藪 公洋

共催：北海道社会事業協会小樽病院 第一三共株式会社



漢方外来開設のお知らせ

今年の4月より当院で『漢方外来』を新設いたしました。

西洋医学的な治療によって大半の疾患はよくなりますが、ごく一部の患者様の疾患は西洋医学的な方法では、なかなかよくなりません。漢方外来では西洋医療でよくならない患者様を対象に、漢方医学的な視点から治療をしていきたいと思っております。具体的には、アトピー性皮膚炎、更年期障害など幅広く対応いたします。よろしく願いいたします。



消化器内科 主任医長 加藤 隆佑

漢方外来は毎週木曜日の午後より、完全予約制で診察を行っております。ご相談ご予約のご依頼は地域連携室で承っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科医師が3人体制になりました

本年4月より消化器内科医師が3人体制になりました。これまでの外来は火曜日休診、土曜日は紹介患者様のみと制限を設けており患者様はもとより先生方に大変ご不便をおかけしておりました。この度の増員により診療日は毎日午前中の受付を行っております。また、土曜日も制限なく交代診療で受付を行っております。より受診しやすいような環境をさらにつくり、先生方とより連携をとっていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



消化器内科 主任医長 加藤 隆佑
外園 正光
山本 洋平

マンモグラフィ検診施設画像評価の認定を更新しました



2015年4月にマンモグラフィ検診施設画像評価の認定を更新しました。これは、日本乳がん検診精度管理中央機構という機関が行っている認定制度です。マンモグラフィを撮影している診療放射線技師の撮影技術、写真の処理等が正しくされているか、X線の線量は適切か、撮影装置の品質管理をきちんと行っているか等の審査を受けます。この認定を受けるということは、小樽協会病院では精度の高い、正しい乳がん検診をしているというお墨付きをいただいた、ということです。2005年に初めて審査に合格し、今回3回目の更新審査に合格しました。後志管内で唯一の認定施設です。

2013年から女性の診療放射線技師が2名になり、現在当院のマンモグラフィはほぼ全例を女性が撮影しています。マンモグラフィに関する知識と撮影技術についての講習を受け、試験に合格した認定技師です。読影をする医師も読影認定医です。万が一病気が見つかったとしても、当院で超音波や、2015年4月より稼動している新しいMRIで精密検査が受けられます。

マンモグラフィは『右』と『左』、『去年』と『今年』のように比較することが大切な検査です。何も病気がない、自分の基本のマンモグラフィを撮影し、ずっと同じ施設で検診を受けることが、さらに検診の精度を高めます。

「何も症状がないから・・・」

「まだ若いから・・・」

と思わずに、一度乳がん検診を受けられることをお勧めします。

睡眠時無呼吸検査（PSG）のご案内

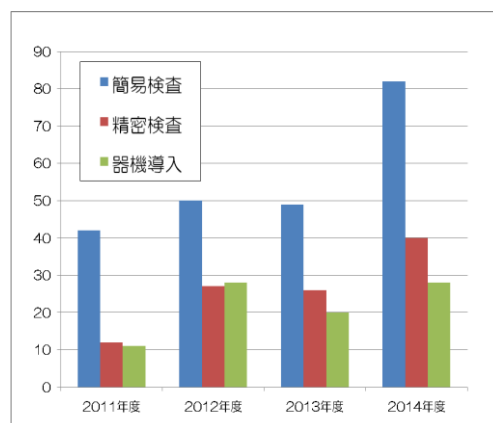
当院では、H26年12月20日より第1、3、5週の土曜日に呼吸器科にて睡眠時無呼吸専門外来を開設いたしました。現在では睡眠時無呼吸検査を行った患者数は364名になり、その後、器械導入患者数は約90名になります。現在、市内では当院を含め2施設で睡眠時無呼吸検査を受けることができます。しかし、睡眠時無呼吸検査はまだ一般には知られていない検査だと思われる。そのため、市民公開講座や講演会、院内の外来に設置してあるモニタを使って案内を開始するなど、より多くの方に睡眠時無呼吸検査を知ってもらえるよう努めています。



睡眠時無呼吸検査には簡易検査と精密検査があり、基本的にはまず簡易検査を行なっていただき、その結果により精密検査へ移行します。簡易検査は装置をご自宅で装着してもらい検査を行います。精密検査は一泊入院していただき、装置を装着させてもらい検査します。検査による侵襲的なことは一切ありません。

この検査では、主に睡眠時の低呼吸・無呼吸の回数や時間、また血中酸素飽和度の低下、脳波やいびき等を調べます。検査の結果で低呼吸・無呼吸が基準の指数を超えた場合、器械の導入となります。この器械とは、睡眠の際に空気が送気される器械で、鼻にマスクを装着して睡眠してもらうようになります。

睡眠に様々な悩みを持たれている方は、まだまだ多いと思います。『夜に苦しくて目が覚める』、『近親者に言われて気がつく』、『日中（運転中や仕事）の眠気』等、またはこれ以外の睡眠への悩みや不安をお持ちの方も睡眠時無呼吸専門外来を受診してご相談してみたいはいかがでしょうか？



ホルター心電図解析を行っています！

臨床検査科では昨年よりホルター心電図の解析をはじめました。使用している機種は日本光電のDSC3000です。自院・当会余市病院・岩内病院で検査されたもの、市内の開業医の先生から頂いたご依頼を合わせて昨年1年間で約700件の解析を行いました。検査室ではそのほかに心エコー検査も年間2400例ほど施行していて新しく導入されたMRIや3DCT、心臓造影検査と合わせて循環器疾患の診断の一助になれるよう努力しています。



小樽協会病院ホームページへ！

昨年、当院のホームページがリニューアルされました。最新情報を更新するとともに当院が取り上げられたメディアの紹介や、協会病院職員の学会発表や論文等の実績が公開されています。ぜひ一度『小樽協会病院』で検索し、ご覧いただければ幸いです。

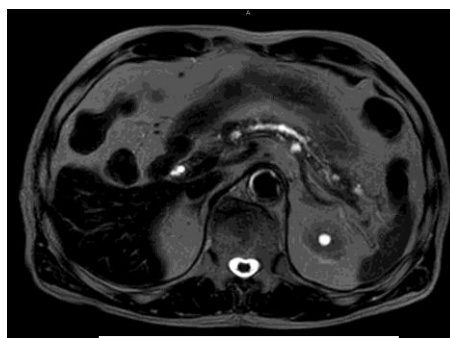
MRI 更新のお知らせ

本年1月よりMRIの入れ替え作業がおこなわれ、その間MRI検査のご依頼を受けられず、皆様には大変なご迷惑、ご不便をおかけしました。本年4月より新しいMRIの稼働が再開し、順調に検査件数を増やしております。今回、更新されましたMRIのご紹介と、検査の内容が若干変更されておりますので合わせてご紹介させていただきます。

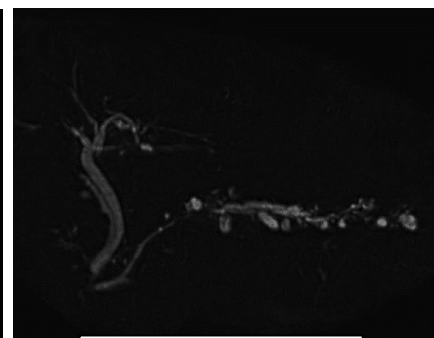
今回導入されましたMRIはPHILIPS社製のIngenia 1.5Tです。以前の1.0Tより磁場強度が上がり、均一性も上がっています。さらにデジタルコイルの採用によりノイズが減少し、高画質な検査を提供できるようになりました。また、MRIのボア径が70cmとワイドになり、MRI特有の圧迫感も減少させることができ、さらに体格の大きな患者様の検査も可能になりました。以下に当院で行いました実際の画像を供覧させていただきます。



●腹部の検査では呼吸同期の精度向上、呼吸停止時間の減少により、薄いスライス厚で高画質の検査が可能になりました。

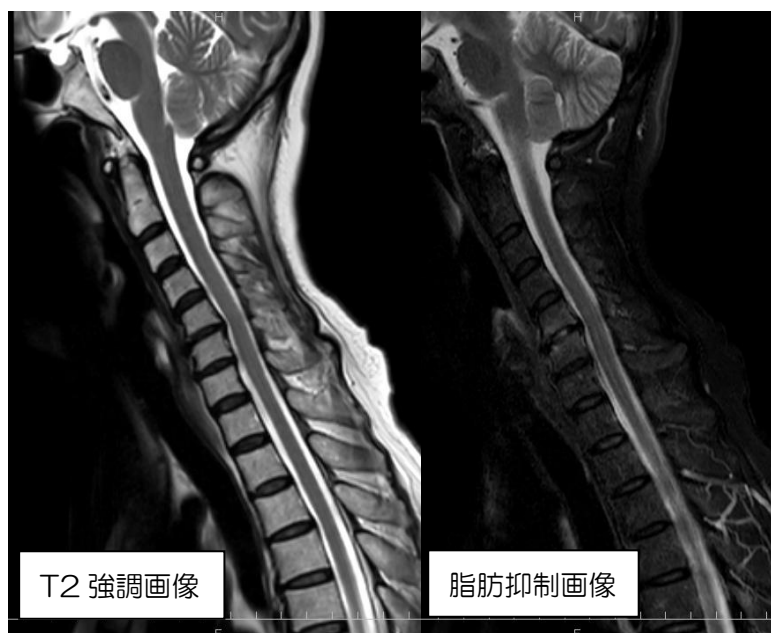
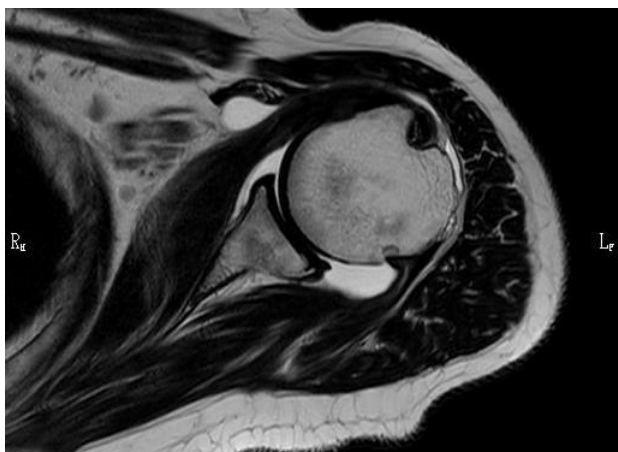


T2 強調 呼吸同期



MRCP 呼吸同期

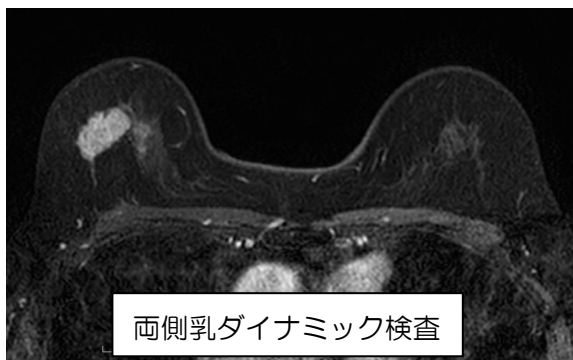
●整形領域では脂肪抑制がかかりづらかった頸椎で十分な脂肪抑制、高画質が得られるようになりました。また、頭部-頸部用コイルにより、今までは上位胸椎が範囲外になってしまいましたが、今回より十分な画質で範囲に含めた検査を行うことができます。その他、肩や膝、足関節等は専用コイルにより、高精細な画像を得ることができるようになりました。



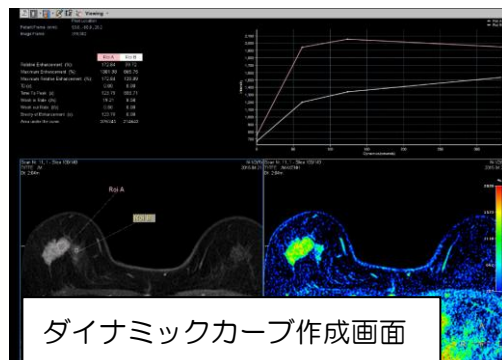
T2 強調画像

脂肪抑制画像

- 当院では乳腺専門外来を行っており、MRI 乳房検査には専用コイルを使い、BI-RADS MRI に基づいた乳腺 MRI 撮像を行っています。また、一回のダイナミック撮像で両側の乳房検査を行い、対側乳房の精密検査を行っています。

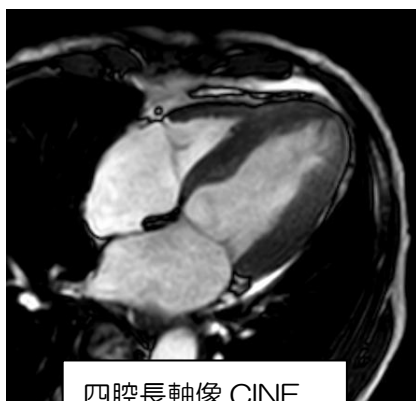


両側乳ダイナミック検査

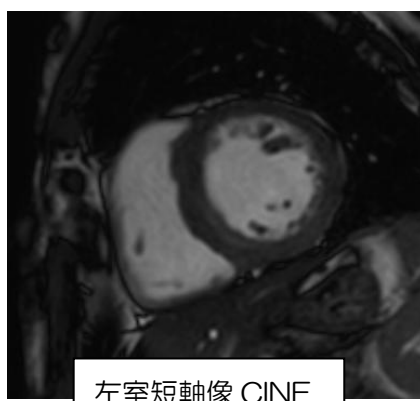


ダイナミックカーブ作成画面

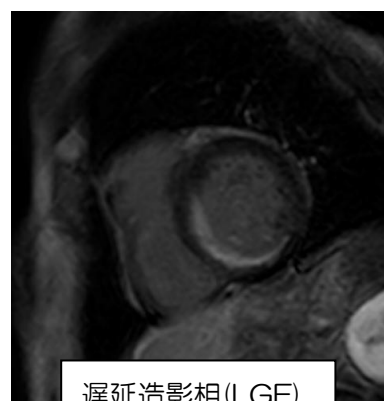
- 今回の機種導入により当院では今までできなかった「心臓」の MRI 検査をはじめました。実際には心臓の壁運動の評価を動画で行い、造影剤を用いて遅延造影 MRI を撮像し、心筋の内膜下梗塞の評価を行っています。



四腔長軸像 CINE



左室短軸像 CINE



遅延造影相 (LGE)

このように新しい MRI になってからこれまで検査ができなかったものが可能となり、より高い診断を行えるように努力しておりますので、市内の先生からの検査のご依頼をお待ちしております。なお、心臓の MRI のご依頼につきましては、一度当院循環器科にご相談をお願いいたします。以上、簡単ではありますが当院の新しい MRI のご紹介とさせていただきます。

当院の MRI が 1.5T になり、条件付き MRI 対応ペースメーカー検査が可能となりました。該当する患者様がおられましたら、検査予約の際に、MRI 対応ペースメーカーであることをお伝えいただき、ペースメーカー手帳より

- ペースメーカー情報
 - 植込み時リード情報
 - 過去3回分のフォローアップ情報
- を地域連携室に FAX でお知らせください。

※MRI 対応ペースメーカーとは、無条件に MRI 検査が可能なのではなく、入室前に設定を変更する、撮影部位を制限することによって検査を行うことができます。本体が MRI 対応でもリードが対応でない場合、当院でプログラムの変更ができない場合、撮影範囲とペースメーカーの位置関係によっては MRI 検査ができません。この判定をするためにペースメーカー手帳の情報が必要になりますのでご協力お願いいたします。